

(5) 4歳児

4歳児 実践事例

いくぞ こじか組消防隊 (6月)

観点 (生活)

視点 (健康 ~げんきいっぱい~ 運動)

【遊びの経過】

戸外遊びや体を動かす遊びを好み、鬼ごっこをしたり、走り回ったりして遊んでいる。絵本を見たり、消防署を見学したりしたことをきっかけに、消火玉を投げて火を消すなどの消防士ごっこが盛り上がってきている。

【ねらい】

いろいろな動きのある運動遊びを楽しむ。

【評価】

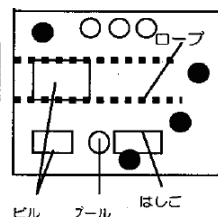
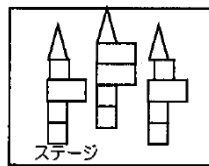
・消防士になりきって、跳ぶ、引っ張る、投げるなどさまざまな動きのある運動遊びを楽しんでいる。

【○幼児の活動

★環境の構成

■保育者の援助】

- ★子どもと一緒に場を設定し、活動への見通しがもてるようにする。(ダンボールのビル、消火玉、新聞紙のプールなど)
- ★安全に遊ぶように、遊具や職員の配置を行う。



○消防士になって体を動かす。

<高いところの上って火を消そう>



落ちないように。  
【バランス】【集中】

<ロープを引っ張って進もう>



腕に力を入れて進もう。  
【力の調整】

<ダンボールビルに消火玉を投げよう>



なかなか倒れない。  
【葛藤】

■はしごや巧技台に不安を感じている子どもには、子どもの気持ちを確かめながら、手を貸したりアドバイスしたりする。

■「やってみたい」「遊びたい」と思えるように子どもの実態に合わせて遊具の配置を変えたり、保育者がやって見せたりして、いろいろな動きに挑戦できるように工夫する。

■体が曲がったり止まったりしてとまどっている子どもには、保育者が子どもの膝や足の裏に手を添えるなどして、腕の力を使って進む感覚や体の使い方を体感できるようにする。

■子どもの「できた」「楽しかった」という気持ちに共感し、思いきり体を動かした達成感を味わえるようにする。

■投げるコツを尋ねたり、一緒に考えたりすることで、体の向きや足の位置などにも気付けるようにする。

■位置や的を自分で決めて投げることで、ダンボールビルを倒して火を消す達成感を味わえるようにする。

【考察】

どのコーナーでも、消防士になりきって腕の力や腹筋などを使い、跳んだり、引っ張ったり、投げたりする姿が見られた。子どもたちが夢中になって体を動かしたくなる環境を工夫することで、一人一人が、はっきりとした目的(火を消す、プールに着地するなど)に向かって遊ぶことができたと考えられる。今回は一つのコーナーで最後まで遊ぶ子どもが多かったのも、3つのコーナーを行ったり来たりするなど、より主体的にやりたい遊びを選び、十分に全身を動かし、活動意欲を満足させる体験を積み重ねることができるよう用具の配置や空間のとり方など環境の構成を工夫したい。また、子どもの意欲を引き出す保育者の援助の在り方について考えていく必要がある。

4歳児 実践事例

じまんの駅を作ろう

( 6月 )

観点 ( 興味・関心 )

視点 ( 表現

～つたえたいな しりたいたいな～ )

【遊びの経過】

じゃんけん列車を楽しんだことがきっかけとなり、駅作りの活動が始まった。駅見学などの経験をもとに、自分たちで作った「駅」を使って、駅遊びを楽しみたいという気持ちが高まっている。

【ねらい】

自分なりにイメージしたものを形にして表したり、思いを言葉にしたりして伝えようとする。

【評価】

- ・作りたいものに合わせて空き箱や色紙などの素材を選び、切ったり貼ったりすることを楽しんでいる。
- ・でき上がったもので遊びながら、完成した喜びを言葉にして伝えようとしている。

【○幼児の活動

★環境の構成

■保育者の援助】

- ★子どもたちのイメージを引き出せるように駅見学の写真や絵、各駅のスペースを用意しておく。
- ★いろいろな素材に触れることができるように、部屋の中央に材料コーナーを作っておく。

○材料を選んでグループの駅の中にあるものを作る。

何を作ろうか。  
【意欲】

これで何が作れるかな。  
【想像】【思考】

○○を作るには何がいるかな。  
【見通し】



- 用意した材料の特徴や使い方を簡単に知らせることで駅作りへの期待感を膨らませるようにする。
- イメージできずに困っている子どもには、駅見学の写真や自分がかいた絵を見せたり、保育者も一緒に作ったりすることで、自分の思いを形にすることができるようにする。

○作ったものを駅（ダンボール）に置いたり、のりでつけたりする。

ここに階段が作りたいな。  
【意欲】

のりではつかないよ。  
【葛藤】

両面テープを使うといいよ。  
【提案】



- 作りたいもののイメージに合わせて、材料を選び、切ったり貼ったりできるように、子どもの様子を見ながら声をかけていく。
- その子どもなりのがんばりを認めるとともに、作品を紹介することで、製作への意欲を高めるようにする。
- 参観日におうちの人と一緒に遊ぶことを知らせ、期待感をもたせるようにする。

○（参観日）できあがった駅で遊ぶ。

- ★できあがった駅で遊べるよう、各駅をつなぐための線路を用意しておく。

見て、ぼくの駅だよ。【満足感】

駅のお店屋さんに行こう。【期待感】

もっとかっこよく改造するぞ。  
【探究心】  
【試行錯誤】



- 参観日に作品発表の時間を設けることで、自分の製作を振り返り、表現に込めた思いなどについて、おうちの人に伝えることを楽しめるようにする。
- おうちの人と一緒にじゃんけん列車を行い、自分たちの作った駅で遊べることの喜びや友達と遊ぶ一体感を味わえるようにする。

【考察】

頭の中で思い描いているものや見たり聞いたりして感じたことなどの一人一人の思いを今回は「駅」として形に表した。イメージを膨らませ、自分の世界を楽しみながら作った子どももいれば、友達に刺激を受けながら作る楽しさを感じた子どももいる。ペースはそれぞれだが、自分で材料を選んだり、試行錯誤したりしながら作ったことで、より満足感が得られたのではないかなと思う。そして、イメージした駅が形となった喜びが自信となり、参観日の発表では自分の思いを言葉にすることができたと感じる。子どもたちなりの色々な形での表現を見逃さないように認め、次の活動へとつなげていきたい。

4歳児 実践事例

観点 ( 興味・関心 )

好きな遊びをしよう

( 9月 )

視点 ( 意欲 ~おもしろそうだな~ )

【遊びの経過】

夏休みを終えて2学期の始まりの日。新しい友達を迎えての始業式の後、久しぶりに園庭で好きな遊びをすることにした。雨上がりの園庭で、夏休み前まで楽しんだ遊びの続きをしたり、新しい友達を誘ったりしながら遊びを楽しむことになった。

【ねらい】

園庭で自分の選んだ遊びを楽しむ。

【評価】

・自分の選んだ遊びの中で、園庭にある自然物や遊具、道具等を使って遊ぶことを楽しんでいる。

【○幼児の活動

★環境の構成

■保育者の援助】

★雨上がりの環境を生かし、水たまりやぬかるんだ土で遊べるよう手の届く場所に道具を配置する。

○好きな場所で、好きな遊びを行う。

水をくんでみよう。

【好奇心】【意欲】



〈水たまりで〉

水が気持ちいいな。  
【心地よさ】

水を流そう。

【意欲】【目的】



〈といを使って〉

といを傾けよう。  
【提案】

水が動いているよ。  
【発見】



〈容器にたまった水を使って〉

ぐるぐる回すぞ。  
【意欲】

■子どもの発見や疑問を捉えながら、自分のやりたいことが実現するように援助を行う。



園庭の環境構成図

■遊びが広がったり深まったりするように、保育者も一緒に遊んだり、声をかけたりする。  
■遊びが見つからない子どもには、楽しく遊んでいる子どもを紹介するなど、やりたいことを決められるようにする。

穴があいているよ。

【発見】



何の穴かなあ。  
【想像】

〈築山の上で〉

掘ってみるぞ。  
【意欲】【期待】

落ちないで渡るぞ。  
【挑戦】



〈園庭にある材木を並べて〉

もっと並べよう。  
【意欲】【目的】

強いなあ。  
【あこがれ】

どっちが勝つか、勝負だよ。  
【競争】



〈園庭で見つけたオオバコで〉

■思いきり遊んだ満足感を味わったり、次の遊びへの期待感をもったりできるように、一人一人の子どもに声をかける。

【考察】

久しぶりの園での遊びであったが、たくさん子どもたちが自分の遊びを楽しんでいた。中には、じっくりと遊んでいるとは言えない子どもの姿が見られたが、一人一人の子どもに声をかけたり、一緒に遊んだりすることで、遊びを楽しむことができた。

花や虫、水や土など身のまわりの環境に自らかかわることで、新しいことを発見したり遊びを追究したりするなど子どもが自ら考え遊びを進める姿を捉え、保育者は、環境を構成し、援助を行っていく必要がある。ねらいから離れず、かつ子どもの思いに寄り添いながら保育を行うために、保育者間の情報共有の時間を有効に活用し、子どもの遊びの充実をめざしていく。

【遊びの経過】

舟こぎ運動をベースにした舟こぎ鬼ごっこ、舟こぎリレーなどの遊びを楽しんできた。また、ルールを教え合ったり、友達と協力して遊びを進めようとしたりする姿も見られるようになってきた。

【ねらい】

友達や保育者と力いっばい体を動かして遊ぶことを楽しむ。

【評価】

・舟をこぐイメージを共有しながら、腕や足など全身を使って部屋中を動き回って遊ぶことを楽しんでいる。

【○幼児の様子 ★環境の構成 ■保育者の援助】

★安全に思いきり体が動かせるよう、遊戯室のスペースを広く取っておく。

○舟こぎ探検に出かける。

さあ、探検に出発だ。

【意欲】  
【期待感】

しっかりオールを漕いでいこう。

【動きの工夫】  
【思考】



みんなで声を合わせよう。

「オーエス！」  
【提案】【協力】

- 保育者も一緒に運動をしながら、海へ舟をこぎ出すイメージが広がるような声かけを行い、本時の活動への期待が膨らむようにする。
- 子どもたちの体幹が育つよう、腕や足の正しい使い方を丁寧に知らせる。
- 腕や足を力いっばい使って舟漕ぎ運動を行っている姿を認め、まわりの子どもにも知らせることで体を動かして遊ぼうという意欲を高める。

○舟こぎ鬼ごっこをする。

腕をいっばい振ると、速く進むなあ。

【発見】  
【動きの工夫】

足が疲れた。でも、がんばって逃げ切るぞ。

【チャレンジ】



どっちに逃げたらいいかな。【思考】

- 子どもの遊びの姿を見守りながら、体力や集中力に応じて無理なく参加できるように援助していく。
- 保育者も遊びに加わり、個別に誘いかけをしながら、ルールのある遊びを友達と一緒に楽しめるようにする。
- がんばっている姿や、子どもたちの考えた作戦や動きをその都度言葉にして認め、遊びが深まるようにする。

○アイデアを出し合いながら、繰り返し遊ぶ。

もう1回しよう。

【意欲】  
【満足感】



鬼をよく見ながら後ろ向きで逃げると捕まらなかったよ。

【動きの工夫】

- 話したい気持ちを受けとめ、子どもから出たアイデアや意見をうまく引き出し広げていく。
- 満足感を味わうとともに、次回の活動への意欲につながるよう、子どもたちが全身を使ってがんばっていた姿や協力していた姿を認めていく。

【考察】

舟こぎ運動に、探検、鬼ごっこ、リレーなどいろいろな遊びの要素を加えることで、毎回興味や意欲をもって遊びを楽しむことができた。また同じ遊びに継続して取り組むことで、遊びを最後まで楽しめる体力も育ってきた。今後も子どもたちの興味・関心のあることを遊びに取り入れ、主体的な活動になるよう心がけるとともに、多様で巧みな体の動きが身につくような活動を計画的に取り組むことが大切だと考える。また、遊びに変化をもたせ、バリエーションのある動きを取り入れた遊びを工夫していきたい。

4 歳児 実践事例 みんなのひろばで遊ぼう～みんなでのぼる、ころがす、わたる～（10月）

観点（興味・関心）

視点（探究心 ～どうしてかな～）

【遊びの経過】

散歩で見つけた秋の自然物を飾った大きな段ボールの中でままごと遊びを楽しむ姿があった。次第に、その段ボールと丸太渡りや竹渡り、木登り等を組み合わせ、起伏に富んだ園庭で、秋の自然物を使ったいろいろな遊びを楽しみたいという気持ちが高まってきた。

【ねらい】

自分なりに試したり工夫したりしながら遊ぶことを楽しむ。

【評価】

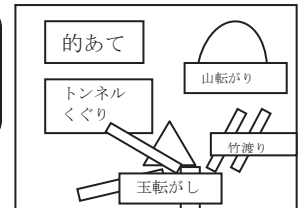
・どうしたらまっすぐ転がるか、どうしたら的に当てることができるかなど、繰り返し試して遊ぶことを楽しんでいる。

【○幼児の活動

★環境の構成

■保育者の援助】

- ★子どもたちと一緒にコーナーの準備をする。（木登り、玉転がし、山転がり・すべり、竹渡り、トンネルくぐり、木の実の的あて）
- ★意欲が高まるように、子どもたちが考えた配置にする。
- ★様々な大きさや形の材料を準備する。（落ち葉、玉、ドングリ、オナモミ）



○各コーナーで遊ぶ

〈トンネルくぐりコーナー〉

- ・トンネルをくぐったり、落ち葉で遊んだりする。

トンネルをくぐってみよう。  
【意欲】  
【チャレンジ】



上に投げたら面白い。  
【気付き】

〈木登り、玉転がしコーナー〉

- ・タイヤを足場にして木に登り、竹に玉を転がす。

すごいスピードで転がるよ。  
【発見】



まっすぐ転がすぞ。  
【探究心】

大きい玉がよく転がるよ。もっと転がそう。  
【気付き】【意欲】

〈木の実の的あてコーナー〉

- ・オナモミ等の実を的に当てる。

どうやったら的に当たるかなあ。  
【疑問】



真ん中をねらって投げろぞ。  
【チャレンジ】

ゆっくり投げるといいよ。  
【気付き】

○片付けをする

【考察】

自分たちが見つけてきた自然物を使ったことで、子どもたちはイメージを膨らませながら意欲的にコーナー作りをし、夢中になって遊ぶことができた。また、繰り返し遊ぶ中で生まれた様々な疑問に対して自分なりに工夫したり、遊びをさらに発展させるための方法を友達同士で相談したりして、活動をより楽しいものにしていった。今後も子どもたちの思いや意欲を引き出しつないだりするための適切な援助を行うとともに、自然を活用した子どもたちにとって魅力的な環境の構成を工夫していきたい。